

後期高齢者のインターネットによる地震被害調査

名誉会員 伯野 元彦

1. 地震被害の現地調査の重要性

地震被害の現地調査の重要性は、次の点からも、単に報道写真を見るのとは異なる。

- 1) 報道写真はどうしてもひどい被害に目が集中しがちである。全体としてどうなのかが、注意してみないとわからない。
- 2) 被害原因を調べるためには、被害構造物と同種の無被害構造物を比較しながら調査をするのがよいが、報道写真は無被害構造物についてはほとんど触れない。

2. 現地調査の重要性はわかってはいるが

後期高齢者（75歳以上）ともなると、ほぼ年金生活者であり、また歩行などの身体機能もかなり衰えてくる。ということは、国内は何とかなるとしても、海外の災害となると、費用がポケットマネーから出すにはかなりの負担であるし、単身で行くには、言葉とか、セキュリティとかで、どうしてもグループに入らなければならないし、崩れた構造物の上を歩くなど、とても出来ないののでグループに迷惑を掛ける。

3. 次善の策としてインターネットによる調査

そこで、現地に行くのはあきらめて、インターネット上で被害写真を集め、その中から自分の研究目的にあったものを選定するというをやってみた。事例として2010年2月27日のチリ地震について行った。

4. 事例 チリ地震（2010年）

地震と被害の概要： 2010年2月27日18時34分（現地夏時間）チリ中部コンセプション近郊沿岸部でMw 8.8という巨大地震が発生、首都サンチャゴをはじめ震源近傍の町に被害を与えると共に、沿岸部に津波が襲った。死者は802人にのぼった。

この後、津波は22時間かけて17000kmを旅し日本を襲ったことは記憶に新しい。

ただこのような巨大地震なのに、少し前に起こった100分の1くらいのハイチ地震の死者22万人以上と比べると、その差に驚かされる。

チリは50年前にもM9以上の地震に襲われるなどかなりの地震経験があり、銅をはじめとする地下資源にも恵まれ、科学技術も進んだ国であって、耐震技術も相当なものなので、その影響も現われているのではなからうか。

高速道路の被害



キーワード：インターネット、震害、被害調査

〒252-0227 相模原市中央区光が丘 3-26-5 TEL & F 042-753-1710

hakuno@theia.ocn.ne.jp

